

SC on CLOUDによりストレスチェックを受けた皆さまにお知らせです

2017年9月27日

このたび、株式会社心陽と株式会社ディジット(株式会社心陽で取り扱うストレスチェックシステムのOEM元メーカー)では以下の研究に総合ストレスチェックSC on CLOUDの結果を提供いたします。

皆さまへの侵襲や介入はなく、匿名化された結果情報のみを用いる研究です。このような研究においては、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方々のお一人ずつから直接同意を得る必要はありませんが、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開いたします。

なお、対象者の皆さまは研究への協力を拒否することができます。研究への協力を希望されない場合は決して使用いたしませんので、下記お問い合わせ先①までお知らせください。

注)研究参加拒否の手続きはお問い合わせ先①のみで行えません。研究内容に関わるお問い合わせはお問い合わせ先②をお願いいたします。

【研究概要】

研究課題名	労働時間とストレス反応の関係
研究責任者	福田吉治 (帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授)
本研究の目的	長時間労働が心身の健康不全を引き起こすことは常識のように考えられていますが、残業時間と心身健康不全の関係についての科学的な研究はありません。長時間労働で引き起こされやすい自覚症状を明らかにすることで、労働時間管理の重要性を確認するとともに、長時間労働が即時的に改善できない場合の自覚症状の予防、または長時間労働をなくす従業員や業務、職場の優先順位など、現実の経営判断の指標となる提言につなげることが本研究の目的です。
研究期間	2017年9月27日～2018年3月31日
調査データ該当期間	2016年4月18日から2017年6月9日まで
研究の方法	属性自記式アンケートと職業性ストレス調査票57項目を用いた横断研究 結果データは、帝京大学公衆衛生学研究科に匿名化した状態(個人情報 that 特定できない様式)で提供され、当該研究施設の研究者に、ストレス反応と残業時間との関連を分析するために用いられます。 研究者:福田吉治(情報管理責任者) 石田陽子 以上2名のみ
個人情報の取扱	利用する情報から回答者を特定できる個人情報は削除してデータを提供します。また、研究成果は学術誌への投稿論文等で発表を予定していますが、その際も回答者を特定できる情報はありません。
本研究の資金源(利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係はありません。 弊社は公衆衛生に寄与し、日本全体の働き方改革につながる本研究の目的に共感し、厳格なデータ秘匿処理と機密保持契約のもと、匿名化したデータを無償提供します。
お問い合わせ先① (研究参加拒否はこちら)	株式会社ディジット 所在地 〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-4 寺尾ビル2階 連絡先 電話 03-6205-7347 E-MAIL miura@digit.com ホームページ http://digit.co.jp 担当 代表取締役 三浦才幸
お問い合わせ先② (研究内容に関する お問い合わせはこちら)	帝京大学公衆衛生学研究科 所在地 〒173 - 8605 東京都板橋区加賀2-11-1 電話 :090-7249-0304 E-MAIL yoko@shinyo.pro ホームページ http://shinyo.pro 担当 大学院生 (株式会社心陽 代表取締役) 石田陽子